

〔殿居囊 武家年中行事〕九月十八日、自御三家方以使者御茶口切被差上之、

〔將軍德川家禮典錄 九〕九月廿一日

一御茶口切ニ付、御茶一箱、鯛一折、松平加賀守より獻上之、謁老中、

〔將軍德川家禮典錄 十〕十一月十七日

一御茶口切ニ付、御茶一箱、蜜柑一箱、日光准后より以使者差上之、

〔駿府政事錄〕慶長十六年十月廿五日、今朝幕下○德川家康依令切鎮西壺之口給、則於御數奇屋召本多

佐渡守、同上野介、大久保石見守、安藤帶刀、成瀬隼人、村越茂助、永井右近、松平右衛門、後藤少三郎、長

谷左兵衛、鶴御料理、賜御茶云々、

〔長闇堂記〕一堺藪内宗也、口切に利休を約束せし前夜、利休一禮に參られし時、宗也立出、尤忝し御入有て一服可參由申せば、利休明朝の口切なれば、先入まじき由申さるれば、明日は明日の御事なり、先は入有べしとて請じ入茶を立いろくの物語にて、思の外はなし、まては、はや曉になる程に、利休さらば釜御改候へとして、朝の數寄迄居つゝけて、口切心よく有しとなり、

〔槐記〕享保十一年霜月十二日、參候、先日何某ガ茶ニ參リタリシニ、後ノ出ニ亭主茶碗ト羽箆トヲ持出テ、爐ブチヲ一逼ハキテ入テ、コボシヒサクヲ指出タリ、珍キコト、終ニ見ザリシコトニ候、コレアルコトニヤト申上ル、仰ニ○近衛家照イサシラズ、後ニ羽箆ヲ持出ルコトハアルコト也、口切冬

ノ茶ニハキカヌコト也、冬何トゾ口切ニ呼バデカナハヌ人トカ、口切ニ冬ノ約束ノ延テ春ニナリタルトキハ、諸事ミナ冬ノアシラヒナリ、炭取モフクベ、爐ブチモ黒ヌリ也、其時ハ茶碗羽箆ヲ持出テ、爐ブチヲハク、是ヲ爐ブチノアシラヒト云、冬ハシラヌコト也ト仰ラル、

〔改正月令博物筌 十月〕朔日、爐開爐開會、爐開會、今日爐をあぶり、三月廿日爐をふまぐ、唐にて今日

例により本朝茶人此日より、爐を開き、賓客と茶を喫す、